

ろうきん杯 第58回 岐阜県学童軟式野球大会規則

- 1 本大会は、2026年度の公認野球規則、公益財団法人 全日本軟式野球連盟 競技者必携の定めるところによる。本大会の為に特別に定めた事項は除く。
- 2 【正式試合】

ゲームは6回戦である。暗黒、降雨などで6回完了まで進まなくとも4回を終了すればゲームは成立する。健康維持を考慮し4回終了前であっても、試合開始後1時間30分経過した場合は、新しいイニングに入らず、均等回完了をもって勝敗を決する。
- 3 【延長戦】

全試合通常の延長戦は行わない。ただし、6回を完了し同点の場合又は試合開始後1時間30分を経過し同点の場合は、いずれも直ちにタイブレーク方式で勝敗を決する。
- 4 【タイブレーク方式】

継続打順で、前回の最終打者を一塁走者、その前の打者を二塁走者とする。すなわち0アウト・二塁の状態にして投手の投球制限を遵守の上、勝敗が決するまで続行する。
- 5 【特別継続試合】

暗黒、降雨などで4回以前に中止になった場合、または4回を過ぎ正式試合になって同点で試合が中止の場合及び試合開始後1時間30分を経過し同点で中止の場合は、翌日の第1試合に先立って特別継続試合を行う。但し、決勝戦は再試合とする。
- 6 【得点差によるコールドゲーム】

4回10点差、5回7点差が生じたときは得点差によるコールドゲームとする。
- 7 【投球制限】

投手の肘、肩の障害予防として、1日70球以内（4年生以下は60球以内）とする。
また、**1週間の投球数は210球以内（4年生以下は180球以内）とする。**
なお、投球数のカウントは該当期間中の試合における実際の投球数の累計によって行う。

 - ① 試合中規定投球数に達した場合、その打者の打撃中に攻守交代となるか、打撃を完了するまで投球できる。
 - ② ボークにもかかわらず投球したものは、投球数に数える。
 - ③ 12秒または20秒が経過し、タイムが宣告されたにもかかわらず、投球した場合は、投球数に入れる。
 - ④ タイブレークになった場合、1日の規定投球数以内で投球できる。
 - ⑤ 牽制球や送球とみなされるものは投球数としない。
 - ⑥ 投球数の管理は、大会本部が行う。
- 8 試合をナイターで実施する場合は、その試合終了時刻を原則として20時までとする。
- 9 【ユニフォーム・スパイク 用具・装具】
 - ① 本大会に合同チームが出場する場合は、ユニフォームは不揃いでもよい。ただし、背番号は重複しないこと。金属製スパイクの使用を禁止する。
 - ② 試合に出場する捕手は安全のためプロテクター、レガース、マスク（スロートガード付）、捕手用ヘルメット（SGマーク付）、ファウルカップを着用すること。
- 10 【ベンチに入れる人員】

登録されユニフォームを着用した監督30番、コーチ29番・28番、選手25名以内と、チーム代表者、マネージャー、スコアラー、トレーナー（有資格者）各1名。
ただし、監督、コーチは18歳以上でなければならない。
熱中症対策として、保護者2名（ビブス着用）までベンチに入ることができる。
- 11 【健康管理】

守備の時間が長い場合（概ね20分）には健康維持を考慮し、審判員の判断で給水タイムを設けることとする。（ロスタイムとして試合時間には入れない）
- 12 ベンチは、組合せ番号の若い方を一塁側とする。ただし、1チームが2試合続けて行う場合は、ベンチの入れ替えは行わない。
- 13 本大会の使用球は（公財）全日本軟式野球連盟公認球のマルエスJ号ボールとする。大会使用球は、主催者で準備する。
- 14 **【応援について】 本大会は、全ての会場において《鳴り物》の使用を認めない。**
- 15 各会場の球場特別規則は、試合当日に大会役員と審判員が協議して定める。